

介護福祉学科 介護福祉士コース

実務経験のある教員等による授業科目一覧表

項目	担当教員	授業科目名	単位	単位時間
※1	介護福祉士	社会と制度の理解 A	2	30
※1	介護福祉士	社会と制度の理解 B	2	30
※1	介護福祉士	介護の基本A	4	60
※1	介護福祉士	介護の基本C	2	30
※1	介護福祉士	生活支援技術（基礎 A）	2	60
※1	介護福祉士	生活支援技術（基礎B）	2	60
※1	介護福祉士	生活支援技術（応用）	2	60
※1	看護師	発達と老化の理解A	2	30
※1	看護師	発達と老化の理解B	2	30
※1	介護福祉士	認知症の理解A	2	30
※1	介護福祉士	認知症の理解A	2	30
※1	介護福祉士	障害の理解A	2	30
※1	介護福祉士	障害の理解A	2	30
※1	看護師	こころとからだのしくみA	4	60
※1	看護師	こころとからだのしくみA	2	30
※1	看護師	こころとからだのしくみA	2	30
※1	看護師	医療的ケア	6	120
※1	看護師	国試模擬	2	30
計			44	780

※1:担当教員は、施設（介護、障がい者等）で従事している者、または施設などで実務経験5年以上有している者である。

教育する科目に関して、担当教員（介護福祉士、看護師）は実務経験を十分に授業に活かし、実践的な教育を行うものとする。

## 202504 専門学校アリス学園

学部・学科	専門課程 介護福祉学科						
区分	人間と社会 人間と社会						
科目名	社会と制度の理解A						
副題							
対象	1年	開講期	前期	開講学期	2025年度(通年)	履修要件	必修
種類	講義	時間数	30	単位	2	授業回数	15
クラス	介護福祉学科1年生(講義)	教室	305、304	担当教員	石井 徳彦		

## 授業計画

第1回	授業ガイダンス ・社会の理解の概要について
第2回	生活の基本機能 ・生活の基本機能について ・社会生活について ・家庭生活の機能について ・生活と働き方の変化
第3回	家族・社会・組織の機能と役割 ・家族と世帯の変容について ・社会、組織の概念について
第4回	地域、地域社会① ・地域、地域社会について ・地域社会の変化について ・地域社会における生活支援について
第5回	地域、地域社会② ・地域、地域社会について ・地域社会の変化について ・地域社会における生活支援について
第6回	地域共生社会・地域包括ケア ・地域共生社会の理念について ・地域共生社会の実現に向けた取り組みについて ・地域包括ケアシステムについて
第7回	社会保障の基本的な考え方① ・社会保障の意義と役割について ・社会保障の目的と機能について ・社会保障制度の歴史について
第8回	社会保障の基本的な考え方② ・社会保障の意義と役割について ・社会保障の目的と機能について ・社会保障制度の歴史について
第9回	日本の社会保障制度の仕組み① ・社会保障の実施体制について ・年金保険、医療保険、介護保険、雇用保険、労働者災害補償保険 ・生活保護、社会手当、社会福祉
第10回	日本の社会保障制度の仕組み② ・社会保障の実施体制について ・年金保険、医療保険、介護保険、雇用保険、労働者災害補償保険 ・生活保護、社会手当、社会福祉
第11回	日本の社会保障制度の仕組み③ ・社会保障の実施体制について ・年金保険、医療保険、介護保険、雇用保険、労働者災害補償保険 ・生活保護、社会手当、社会福祉
第12回	現代社会と社会保障制度 ・少子高齢化の進行と社会保障について ・財政問題について

## 202504 専門学校アリス学園

学部・学科	専門課程 介護福祉学科
区分	人間と社会 人間と社会
科目名	社会と制度の理解A

第13回	高齢者保健福祉 ・高齢者保健福祉の歴史 ・高齢者保健福祉の課題
第14回	高齢者保健福祉に関連する法体系 ・高齢社会対策基本法 ・老人福祉法 ・高齢者の医療の確保に関する法律
第15回	前期末試験

## 成績評価の方法

区分	割合(%)	内容
定期試験	60	
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	20	
その他	20	

## 科目概要

介護サービスの利用主体であるご利用者の生活や社会背景を学ぶ。  
社会保障制度を中心にサービス利用にかかわる様々な法制度のしくみについて学ぶ。

## 目標

ご利用者の生活や社会背景についての知識を習得し理解できる。  
社会保障制度の概要を理解できる。

## 主教材

新・介護福祉士養成講座 2社会と制度の理解 第6版

## 副教材

PPT

## 202504 専門学校アリス学園

学部・学科	専門課程 介護福祉学科						
区分	人間と社会 人間と社会						
科目名	社会と制度の理解B						
副題							
対象	1年	開講期	後期	開講学期	2025年度(通年)	履修要件	必修
種類	講義	時間数	30	単位	2	授業回数	15
クラス	介護福祉学科1年生(講義)	教室	305、304	担当教員	石井 徳彦		

## 授業計画

第1回	介護保険制度① 介護保険制度創設の背景と目的について 社会保障制度の振り返り
第2回	介護保険制度② 介護保険制度の保険者・被保険者など 介護保険の財政について
第3回	介護保険制度③ 介護サービス利用までの流れについて
第4回	介護保険制度④ 介護サービス利用までの流れについて②
第5回	介護保険制度⑤ 介護サービス種類・内容について
第6回	介護保険制度⑥ 介護サービスの種類・内容について②
第7回	介護保険制度⑦ 地域支援事業等について
第8回	介護保険制度⑧ 組織・専門職の機能と役割について
第9回	障害者総合支援制度① 障害者総合支援制度創設の背景について
第10回	障害者総合支援制度② 障害者総合支援制度の仕組みについて
第11回	障害者総合支援制度③ サービス利用手続きと利用者負担について
第12回	個人の権利を守る制度① 成年後見制度 日常生活自立支援事業について
第13回	個人の権利を守る制度 高齢者虐待防止法 障害者虐待防止法 児童虐待防止法 個人情報保護に関する制度について
第14回	生活保護制度 生活保護法 生活困窮者自立支援法について
第15回	期末試験

## 202504 専門学校アリス学園

学部・学科 専門課程 介護福祉学科

区分 人間と社会 人間と社会

科目名 社会と制度の理解B

## 成績評価の方法

区分	割合(%)	内容
定期試験	60	
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	20	
その他	20	

## 科目概要

介護保険制度や障害者総合支援法、ご利用者の権利を守るための諸制度を中心にサービス利用にかかわる様々な法制度のしくみについて学ぶ。

## 目標

介護保険制度や障害者総合支援法、ご利用者の権利を守るための法制度のしくみについて理解できる。

## 主教材

新・介護福祉士養成講座 2 社会と制度の理解 第6版

## 副教材

PPT

## 202504 専門学校アリス学園

学部・学科	専門課程 介護福祉学科						
区分	介護 介護						
科目名	介護の基本A						
副題							
対象	1年	開講期	前期	開講学期	2025年度(通年)	履修要件	必修
種類	講義	時間数	60	単位	4	授業回数	30
クラス	介護福祉学科1年生(講義)	教室	305、304	担当教員	加茂野 和美		

## 授業計画

第1回	オリエンテーション1
第2回	オリエンテーション2
第3回	高齢者の生活を知る(高齢者グループホーム)
第4回	高齢者の生活を知る(高齢者グループホーム)
第5回	介護の成り立ち・専門職による「介護」が誕生した経緯を学ぶ
第6回	介護の成り立ち・専門職による「介護」が誕生した経緯を学ぶ
第7回	介護を取り巻く状況①介護需要の変化②家族機能の変化③地域社会の変化
第8回	介護を取り巻く状況①介護需要の変化②家族機能の変化③地域社会の変化
第9回	介護ニーズの複雑化と多様化
第10回	介護福祉の歴史
第11回	1970年代の主な施策(老人収容施設)
第12回	1980年代の主な施策(社会福祉士及び介護福祉士法の成立)
第13回	1990年代の主な施策(自立支援・高齢者化率)
第14回	2000年以降の主な施策(介護保険法)
第15回	2000年以降の主な施策(介護福祉士の業の変遷)
第16回	介護福祉の基本となる理念
第17回	尊厳を支える介護
第18回	尊厳を支える介護(グループワーク)
第19回	自立を支える介護
第20回	自立を支える介護(グループワーク)
第21回	介護福祉士の役割と機能 地域における介護福祉士の役割と機能
第22回	介護福祉士の役割と機能 地域における介護福祉士の役割と機能(グループワーク)
第23回	施設・在宅の場における介護福祉士の役割と機能
第24回	施設・在宅の場における介護福祉士の役割と機能(グループワーク)
第25回	介護予防における介護福祉士の役割と機能
第26回	医療的ケアにおける介護福祉士の役割と機能
第27回	人生に最終段階の場における介護福祉士の役割と機能
第28回	災害時などの場における介護福祉士の役割と機能
第29回	前期評価試験
第30回	振り返り

## 成績評価の方法

区分	割合(%)	内容
定期試験	60	学期末試験
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	20	ミニテスト(5)・忘れ物(5)・授業態度(5)・積極性協調性協働性(5)
その他	20	

## 202504 専門学校アリス学園

学部・学科 専門課程 介護福祉学科

区分 介護 介護

科目名 介護の基本A

## 科目概要

- ・介護福祉の基本となる理念や、地域を基盤とした生活の継続性を支援するためのしくみを理解し、介護福祉の専門職としての能力と態度を養う学習とする。
- ・介護を必要とする人の尊厳ある生活を支援する介護福祉に求められる役割の機能を理解し、様々な場面に必要とされる介護の基礎的知識・技術をグループワークや、演習を交えて習得できる内容とする。
- ・介護福祉の専門性と理念・倫理を理解し、介護を必要とする人の生活を支えるしくみをしっかり習得するとともに、専門職として態度を養うことができる

## 目標

- ・複雑化・多様化・高度化する介護ニーズ及び介護福祉を取り巻く状況を社会的な課題として捉え、尊厳の保持や自立支援という介護福祉の基本となる理念を理解できる。

## 主教材

中央法規出版(株)最新介護福祉士養成講座3介護の基本 I

## 副教材

## 202504 専門学校アリス学園

学部・学科	専門課程 介護福祉学科						
区分	介護 介護						
科目名	介護の基本C						
副題							
対象	1年	開講期	後期	開講学期	2025年度(通年)	履修要件	必修
種類	講義	時間数	30	単位	2	授業回数	15
クラス	介護福祉学科1年生(講義)	教室	305、304	担当教員	石井 徳彦		

## 授業計画

第1回	授業ガイダンス「介護の基本Cを学ぶ」／介護福祉を必要とする人の理解1 目標①授業での学び方(課題の出し方、討議への参加方法等)を習得する 目標②私たちの生活は「時間」「空間」「生活のリズム」が相互に関連し、構成されていることを理解する
第2回	介護福祉を必要とする人の理解2 目標①私たちの生活を構成する重要な要素について理解する 目標②私たちにとって、生活とはどのような特性をもっているかを理解する
第3回	介護福祉を必要とする人の理解3 目標①介護福祉を必要とする人たちの多様性を理解する 目標②介護福祉職のかかわる高齢者の事例を学ぶ
第4回	介護福祉を必要とする人の理解4 目標①介護福祉職のかかわる障害者の事例を学ぶ
第5回	介護福祉を必要とする人の理解5 目標①その人らしさや、その多様性について理解する 目標②生活ニーズや、その多様性について理解する
第6回	介護福祉を必要とする人の理解6 目標①私たち自身の生活のしづらさの視点について理解する 目標②介護を必要とする人の生活のしづらさの視点について理解する 目標③家族介護者とその支援について理解する
第7回	介護福祉を必要とする人の生活を支えるしくみ1 目標①地域共生社会について理解する
第8回	介護福祉を必要とする人の生活を支えるしくみ2 目標①地域包括ケアシステムについて理解する
第9回	介護福祉を必要とする人の生活を支えるしくみ3 目標①高齢者の生活を支えるフォーマルサービスを理解する 目標②フォーマルサービスにおける介護福祉士の支援の視点を理解する
第10回	介護福祉を必要とする人の生活を支えるしくみ4 目標①高齢者の生活を支えるフォーマルサービスを理解する 目標②フォーマルサービスにおける介護福祉士の支援の視点を理解する
第11回	サービス担当者会議とは 要介護認定について学ぶ サービス担当者カギに参加する専門職の詳細について学ぶ
第12回	事例A 事例B の課題より施設サービス計画書(1)(2)を作成してみよう 学生が現在の知識と実習の経験から、ケアプランを作成し、身体介護だけに視点が行くのではなく、ご本人家族の思いからどのようにプランを作り上げていくかを知ることができる
第13回	事例A 事例B の課題より実際にサービス担当者会議を開催してみよう① 参加者:本人・家族・ケアマネ・介護職員・看護師・作業療法士・管理栄養士・言語聴覚士・医師 上記の役割を決めて、担当者会議にて発言をし、利用者の思い、家族の思い、またそれぞれの専門職としても意見の主張を経験してみることで専門職の特徴や、将来の自信の専門職としての視点を認識し学ぶ
第14回	事例A 事例B の課題より実際にサービス担当者会議を開催してみよう② 参加者:本人・家族・ケアマネ・介護職員・看護師・作業療法士・管理栄養士・言語聴覚士・医師 上記の役割を決めて、担当者会議にて発言をし、利用者の思い、家族の思い、またそれぞれの専門職としても意見の主張を経験してみることで専門職の特徴や、将来の自信の専門職としての視点を認識し学ぶ

## 202504 専門学校アリス学園

学部・学科 専門課程 介護福祉学科

区分 介護 介護

科目名 介護の基本C

第15回 評価試験  
目標①評価試験において100点満点中、60点以上を獲得する

## 成績評価の方法

区分	割合(%)	内容
定期試験	60	
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	20	
その他	20	

## 科目概要

介護福祉の基本となる理念や地域を基盤とした生活の継続性を支援するためのしくみを理解し、介護福祉の専門職としての能力と態度を養う。

## 目標

介護を必要とする人の生活を支援するという観点を理解し、介護を受けて生活する人およびその生活や、フォーマルおよびインフォーマルな支援について学ぶ。

## 主教材

PPT  
最新 介護福祉士養成講座4『介護の基本Ⅱ』第2版／介護福祉士養成講座編集委員会編集／中央法規出版／2022、合格ドリル2022／中央法規出版／2021

## 副教材

## 202504 専門学校アリス学園

学部・学科	専門課程 介護福祉学科						
区分	介護 介護						
科目名	生活支援技術(基礎A)						
副題							
対象	1年	開講期	前期	開講学期	2025年度(通年)	履修要件	必修
種類	演習	時間数	60	単位	2	授業回数	30
クラス	介護福祉学科1年Aクラス	教室	介護実習室	担当教員	加茂野 和美		

## 授業計画

第1回	・オリエンテーション・いいね金沢健康体操(準備体操)・実技の際の身だしなみ・実習室の使い方 ・生活支援とは
第2回	・ベッドメイキング・姿勢、体位、体位変換
第3回	高齢者の住宅環境の理解
第4回	生活支援の基本的考え方・生活支援と介護過程
第5回	ボディメカニクス 移動動作の基礎となっている理論
第6回	自立した移動 移動・移乗介助における基本的視点 移動に必要な道具
第7回	起居動作 仰臥位→側臥位→起き上がり→端座位→立ち上がり
第8回	起居動作 仰臥位→側臥位→起き上がり→端座位→立ち上がり
第9回	サルコペニア フレイル ロコモティブシンドローム
第10回	歩行介助 杖歩行(3動作歩行・階段昇降)
第11回	車いす介助 車いすの種類 特徴と使い方
第12回	車いす介助(屋外走行)(移乗介助)
第13回	車いす介助(屋外走行)(移乗介助)
第14回	車いす介助(屋外走行)(移乗介助)
第15回	自立した身支度の介助
第16回	洗顔・整髪・髭剃り・スキンケア・お化粧品・耳掃除・爪切り
第17回	洗顔・整髪・髭剃り・スキンケア・お化粧品・耳掃除・爪切り
第18回	ハンドマッサージ
第19回	自立した身支度の介助(衣服の着脱・前開き、ズボン、かぶり)
第20回	自立した身支度の介助(衣服の着脱・前開き、ズボン、かぶり)
第21回	自立した入浴・清潔保持の介助
第22回	自立した入浴・清潔保持の介助
第23回	食事のメカニズム 食事介助
第24回	食事のメカニズム 食事介助
第25回	事例から学ぶ実践的生活支援技術
第26回	事例から学ぶ実践的生活支援技術

## 202504 専門学校アリス学園

学部・学科	専門課程 介護福祉学科						
区分	介護 介護						
科目名	生活支援技術(基礎A)						
副題							
対象	1年	開講期	前期	開講学期	2025年度(通年)	履修要件	必修
種類	演習	時間数	60	単位	2	授業回数	30
クラス	介護福祉学科1年Aクラス	教室	介護実習室	担当教員	加茂野 和美		

## 授業計画

第27回	事例から学ぶ実践的生活支援技術
第28回	事例から学ぶ実践的生活支援技術
第29回	期末試験
第30回	期末試験

## 成績評価の方法

区分	割合(%)	内容
定期試験	60	事例課題による演習(技術の評価)
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	20	身だしなみ・課題提出・態度・忘れ物・協調性
その他	20	

## 科目概要

人の尊厳の保持の観点からどのような状態であってもその人の自立・自律を尊重しその方のできる能力を引き出したり、見守ることも含めたその時々に応じた適切な介護技術を考え安全に援助できるように技術や知識を習得する学習とする。また、その方の状態、状況をしっかり把握できる観察力やアセスメント力の初歩的な力を学び習得する。

## 目標

対象者の能力を活用・発揮し、自立を支援するための生活支援技術の基本を習得できる。また実践の根拠について、説明能力が身につくようにする。

## 主教材

最新介護福祉士養成講座6 生活支援技術 I  
最新介護福祉士養成講座7 生活支援技術 II

## 副教材

## 202504 専門学校アリス学園

学部・学科	専門課程 介護福祉学科						
区分	介護 介護						
科目名	生活支援技術(基礎B)						
副題							
対象	1年	開講期	後期	開講学期	2025年度(通年)	履修要件	必修
種類	演習	時間数	60	単位	2	授業回数	30
クラス	介護福祉学科1年Aクラス	教室	介護実習室	担当教員	加茂野 和美		

## 授業計画

第1回	ベッドから車イスへの移乗(一部介助・全介助)ノーリフティング
第2回	車イスからベッドへの移乗(一部介助・全介助)ノーリフティング
第3回	自立に向けた食事の介助 ・食事の意義と目的 ・自立に向けた食事介助の視点 ・食卓で行う食事介助
第4回	自立に向けた食事の介助 ・対象者の状態に応じた留意点 ・ベッド上で行う食事の介助
第5回	自立に向けた排せつの介助 ・排泄の意義と目的 ・自立に向けた排せつの介護の視点 ・排泄介護の基本となる知識と技術
第6回	自立に向けた排せつの介護 ・排泄の異常への対応(頻尿・尿失禁・便秘・下痢等)
第7回	自立に向けた排せつの介護 ・車いす利用者のトイレでの介助(対象の状態に応じた留意点)
第8回	自立に向けた排せつの介護 ・ポータブルトイレの介助
第9回	自立に向けた排せつの介護 ・オムツ交換の介助
第10回	自立に向けた排せつの介護 ・陰部洗浄・清拭の介助 ・採尿器・差し込み便器
第11回	生活を支える福祉用具を学ぶ(福祉用具ブラザルキーナ見学)
第12回	生活を支える福祉用具を学ぶ(福祉用具ブラザルキーナ見学)
第13回	安楽な姿勢と体位を保持する介助(ポジショニング)・褥瘡予防
第14回	ベッド上での水平移動・寝返り介助(全介助)
第15回	自立に向けた家事の介護 ・日本の食文化・伝統行事を学ぶ ・家事支援の基本となる知識と技術 ・調理(七草がゆ・鏡開き)
第16回	・調理(七草がゆ・鏡開き)
第17回	自立に向けた家事の介護 ・洗濯の介助 ・洗濯の意義 ・洗濯マーク等
第18回	自立に向けた家事の介護 ・掃除・ごみ捨ての介助
第19回	自立に向けた家事の介護 ・裁縫・衣類の補修

## 202504 専門学校アリス学園

学部・学科	専門課程 介護福祉学科						
区分	介護 介護						
科目名	生活支援技術(基礎B)						
副題							
対象	1年	開講期	後期	開講学期	2025年度(通年)	履修要件	必修
種類	演習	時間数	60	単位	2	授業回数	30
クラス	介護福祉学科1年Aクラス	教室	介護実習室	担当教員	加茂野 和美		

## 授業計画

第20回	自立に向けた家事の介護 ・衣類補修の方法(ボタン付け・並縫い・まつり縫い)
第21回	自立に向けた家事の介護 ・衣類補修の方法(ミシンの使いかた・かけ方)アイロンの使い方
第22回	自立に向けた家事の介護 ・衣類補修の方法(ミシンの使いかた・かけ方)アイロンの使い方
第23回	自立に向けた家事の介護 ・買い物の介助(意義と支援の方法・施設、在宅の場合)
第24回	自立に向けた家事の介護 ・家庭経営、家計の管理(訪問介護について)
第25回	事例から考える実践的介護
第26回	事例から考える実践的介護
第27回	事例から考える実践的介護
第28回	事例から考える実践的介護
第29回	事例から考える実践的介護
第30回	評価試験

## 成績評価の方法

区分	割合(%)	内容
定期試験	60	実技試験
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	20	身だしなみ・忘れ物・協調性・積極性・協働性
その他	20	

## 科目概要

人の尊厳の保持の観点から、どのような状態であってもその人の自立自律を尊重し、その方のできる力を引き出し見守ることも含めたその時々に応じた適切な介護技術を考え安全に援助できるように技術や知識を習得する学習とする。介護を必要とする人達が、その人らしく生きるための生活環境や生活支援の方法、またその方の自立支援に向けた介護について考えることができる知識、技術を習得する。またその方の状態、状況をしっかり把握できる観察力やアセスメント力の初歩的な力を学び習得する。

## 目標

対象者の能力を活用・発揮し、自立を支援するための生活支援技術の基本を習得できる。また実践の根拠について、説明できる能力が身につくようにする

## 主教材

最新介護福祉士養成講座6 生活支援技術Ⅰ  
最新介護福祉士養成講座7 生活支援技術Ⅱ

## 副教材

## 202504 専門学校アリス学園

202504 専門学校アリス学園							
学部・学科	専門課程 介護福祉学科						
区分	介護 介護						
科目名	生活支援技術(応用)						
副題							
対象	2年	開講期	前期	開講学期	2025年度(通年)	履修要件	必修
種類	演習	時間数	60	単位	2	授業回数	30
クラス	介護福祉学科2年Aクラス	教室	介護実習室	担当教員	加茂野 和美		
授業計画							
第1回	前期振り返り 基本的知識の確認						
第2回	前期振り返り 基本的知識の確認						
第3回	居住環境の整備・住まいの役割と機能を理解できる・生活空間について理解ができる						
第4回	居住環境の整備・快適な室内環境について理解ができる・安全に暮らすための生活環境が理解できる						
第5回	ベッド上での手浴・足浴 衰弱された方などへの介助を前提に、ベッド上での足浴、手浴の技術や注意点を理解したうえで実践できる						
第6回	ベッド上での手浴・足浴 衰弱された方などへの介助を前提に、ベッド上での足浴、手浴の技術や注意点を理解したうえで実践できる						
第7回	ベッド上での洗髪 水を使用しないシャンプー・ドライシャンプーを使用してベッド上での洗髪をする 手作りケリーパットを使用して、寝たまの姿勢でベッド上にて洗髪をする						
第8回	ベッド上での洗髪 水を使用しないシャンプー・ドライシャンプーを使用してベッド上での洗髪をする 手作りケリーパットを使用して、寝たまの姿勢でベッド上にて洗髪をする						
第9回	安静臥床を要する利用者へのシーツ交換 利用者の安心安楽を配慮したシーツ交換						
第10回	寝たまの浴衣の着替え 衰弱された方などへの介助を前提に、脱健着患の技術や注意点を理解した上で実践できる						
第11回	福祉用具の意義 生活支援における福祉用具の重要性を理解できる 福祉用具の種類を学ぶことができる 適切な福祉用具を選ぶための視点を理解することができる						
第12回	福祉用具の意義 生活支援における福祉用具の重要性を理解できる 福祉用具の種類を学ぶことができる 適切な福祉用具を選ぶための視点を理解することができる						
第13回	自立に向けた家事の介護を理解することができる						
第14回	自立に向けた家事の介護を理解することができる						
第15回	休息・睡眠の介護 休息・睡眠の介護について理解できる						
第16回	休息・睡眠の介護 休息・睡眠の介護における多職種との連携を理解できる						
第17回	応急手当の知識と技術						
第18回	災害時における生活支援 災害時における介護福祉職の役割を理解できる						
第19回	ベッド上での排せつケア 利用者の羞恥心に配慮した安全安心なオムツ交換・陰部洗浄ができる						
第20回	ベッド上での排せつケア 利用者の羞恥心に配慮した安全安心なオムツ交換・陰部洗浄ができる						

## 202504 専門学校アリス学園

学部・学科	専門課程 介護福祉学科						
区分	介護 介護						
科目名	生活支援技術(応用)						
副題							
対象	2年	開講期	前期	開講学期	2025年度(通年)	履修要件	必修
種類	演習	時間数	60	単位	2	授業回数	30
クラス	介護福祉学科2年Aクラス	教室	介護実習室	担当教員	加茂野 和美		

## 授業計画

第21回	事例から介助を組み立てる 事例を読み取り介助のポイント、根拠を明確にした流れを作成する
第22回	事例から介助を組み立てる 事例を読み取り介助のポイント、根拠を明確にした流れを作成する
第23回	終末期の方への介護 終末期の方への介護及びエンゼルケアを学ぶ
第24回	終末期の方への介護 終末期の方への介護及びエンゼルケアを学ぶ
第25回	事例から介助を組み立てる 事例を読み取り介助のポイント、根拠を明確にした流れを作成する
第26回	事例から介助を組み立てる 事例を読み取り介助のポイント、根拠を明確にした流れを作成する
第27回	事例から介助を組み立てる 事例を読み取り介助のポイント、根拠を明確にした流れを作成する
第28回	事例から介助を組み立てる 事例を読み取り介助のポイント、根拠を明確にした流れを作成する
第29回	期末試験 自己が担当した課題で安全安心安楽な介助ができる
第30回	期末試験 自己が担当した課題で安全安心安楽な介助ができる

## 成績評価の方法

区分	割合(%)	内容
定期試験	60	グループ発表形式
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	20	課題提出・テキスト等の忘れ物・身だしなみ(髪・アクセサリ・爪等)協力参加
その他	20	出席率

## 科目概要

人の尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、その方のできる力を引き出したり、見守ることも含めたその時々に応じた適切な介護技術を考え、安全に援助できるように技術、知識を習得する。また、その方の状態をしっかり把握できる観察力やアセスメント力を学び習得できる。

## 目標

人の尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、その方のできる力を引き出したり、見守ることも含めたその時々に応じた適切な介護技術を考え、安全に援助できるように技術、知識を習得する。また、その方の状態をしっかり把握できる観察力やアセスメント力を学び習得できる。

## 主教材

最新介護福祉士養成講座 6・7 生活支援技術 I・II

## 副教材

インターネット・プリント・動画

## 202504 専門学校アリス学園

学部・学科	専門課程 介護福祉学科						
区分	こころとからだのしくみ こころとからだのしくみ						
科目名	発達と老化の理解A						
副題							
対象	1年	開講期	前期	開講学期	2025年度(通年)	履修要件	必修
種類	講義	時間数	30	単位	2	授業回数	15
クラス	介護福祉学科1年生(講義)	教室	305、304	担当教員	関戸 かおり		

## 授業計画

第1回	オリエンテーション 授業の進め方 評価方法など ～人間の成長と発達の基礎的知識～
第2回	人間の成長と発達の基礎的知識 成長・発達の原則、法則
第3回	発達に影響する要因
第4回	人間の発達段階と発達課題 ～発達理論～
第5回	人間の発達段階と発達課題 ～身体的機能の成長と発達～
第6回	人間の発達段階と発達課題 ～心理的機能の発達～
第7回	人間の発達段階と発達課題 ～社会的機能の発達～
第8回	老年期の特徴と発達課題 ～老年期の定義～
第9回	老年期の特徴と発達課題 ～老化とは～
第10回	老年期の発達課題
第11回	老年期をめぐる今日的課題
第12回	老化にともなう身体的な変化と生活への影響
第13回	老化にともなう心理的な変化と生活への影響
第14回	老化にともなう社会的な変化と生活への影響
第15回	期末試験

## 成績評価の方法

区分	割合(%)	内容
定期試験	60	
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	20	
その他	20	

## 科目概要

人間の成長と発達の過程における、身体的・心理的・社会的変化および老化が生活に及ぼす影響について、理解し、ライフサイクルの特徴に応じた生活を支援するために必要な基礎的知識を学習する

## 目標

- ・介護を必要とする人の理解を深めるため、人間の成長と発達の観点から人の一生についての知識を習得できる
- ①成長・発達の考え方、成長・発達の原則や影響する要因など基礎的な知識を学ぶ
- ②ライフサイクル各期における身体的・心理的・社会的特徴と発達課題および特徴的な疾病について学ぶ
- ・成長・発達の観点から老化を理解し、老化にともなう心理や身体機能の変化およびその特徴に関する基礎的な知識を習得できる
- ①老年期の特徴と発達課題について学ぶ
- ②老化にともなう身体的・心理的・社会的な変化と、それらがどのように生活に影響を与えるかについて学ぶ

## 主教材

最新・介護福祉士養成講座12 発達と老化の理解(中央法規出版)

## 副教材

## 202504 専門学校アリス学園

学部・学科	専門課程 介護福祉学科						
区分	こころとからだのしくみ こころとからだのしくみ						
科目名	発達と老化の理解B						
副題							
対象	1年	開講期	後期	開講学期	2025年度(通年)	履修要件	必修
種類	講義	時間数	30	単位	2	授業回数	15
クラス	介護福祉学科1年生(講義)	教室	305、304	担当教員	加茂野 和美		

## 授業計画

第1回	健康長寿に向けての健康 高齢者の症状・疾患の特徴
第2回	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 ～骨格系・筋系～
第3回	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 ～脳・神経系～
第4回	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 ～皮膚・感覚器系～
第5回	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 ～循環器系～
第6回	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 ～呼吸器系～
第7回	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 ～消化器系～
第8回	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 ～腎・泌尿器系～
第9回	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 ～内分泌・代謝系～
第10回	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 ～歯・口腔疾患～
第11回	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 ～悪性新生物(がん)～
第12回	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 ～感染症～
第13回	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 ～精神疾患～
第14回	保健医療職との連携
第15回	期末試験

## 成績評価の方法

区分	割合(%)	内容
定期試験	60	
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	20	
その他	20	

## 科目概要

人間の成長と発達の基本的な考え方を踏まえ、ライフサイクルの各期における身体的・心理的・社会的特徴と発達課題及び特徴的な疾病について理解する  
 高齢者に多くみられる疾病と生活への影響、健康の維持・増進を含めた生活を支援するための基礎的な知識を学習する

## 目標

- ・高齢者の症状や疾患の特徴について理解する
- ・高齢者に特有な症候について理解する

## 主教材

最新・介護福祉士養成講座12 発達と老化の理解

## 副教材

## 202504 専門学校アリス学園

学部・学科	専門課程 介護福祉学科						
区分	こころとからだのしくみ こころとからだのしくみ						
科目名	認知症の理解A						
副題							
対象	1年	開講期	前期	開講学期	2025年度(通年)	履修要件	必修
種類	講義	時間数	30	単位	2	授業回数	15
クラス	介護福祉学科1年生(講義)	教室	305、304	担当教員	石井 徳彦		

## 授業計画

第1回	授業オリエンテーション(科目の概要、授業の進め方) ”認知症”という言葉からのイメージ
第2回	認知症の基礎的理解～認知症とは何か～ 認知症の定義と診断基準 認知症初期に生じる生活の支障 認知症の症状の全体像
第3回	認知症の基礎的理解 認知症の症状の全体像 認知症の特徴
第4回	認知症の基礎的理解～脳のしくみ～ 脳の構造・機能 脳の構造と症状の関係
第5回	認知症の基礎的理解～認知症の人の心理～
第6回	認知症の症状・診断・治療・予防～中核症状の理解～
第7回	認知症の症状・診断・治療・予防～生活障害の理解～
第8回	認知症の症状・診断・治療・予防～BPSD(行動・心理症状)の理解
第9回	認知症の症状・診断・治療・予防～認知症の診断と重症度～
第10回	認知症の症状・診断・治療・予防 ～認知症の原因疾患と症状・生活障害(アルツハイマー型認知症・血管性認知症)～
第11回	認知症の症状・診断・治療・予防 ～認知症の原因疾患と症状・生活障害 (レビー小体型認知症・前頭側頭型認知症・治療可能な認知症・若年性認知症)～
第12回	認知症の症状・診断・治療・予防～認知症の治療薬～
第13回	認知症の・診断・治療・予防～認知症の予防～
第14回	前期授業振り返り・まとめ
第15回	期末試験

## 成績評価の方法

区分	割合(%)	内容
定期試験	60	
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	20	
その他	20	

## 科目概要

”認知症の本質や認知症の人の心理状態、認知症特有の症状やケア、認知症を取り巻く社会環境などを正しく理解し、認知症の人に対する適切な全人的ケアを提供できるようになる知識を養う”

## 目標

認知症についての基本的な知識を習得し、認知症の人の心理や身体機能や社会的側面について考えることができる。

## 主教材

最新 介護福祉士養成講座 13 認知症の理解 第2版

## 副教材

PPT

## 202504 専門学校アリス学園

学部・学科	専門課程 介護福祉学科						
区分	こころとからだのしくみ こころとからだのしくみ						
科目名	障害の理解A						
副題							
対象	1年	開講期	前期	開講学期	2025年度(通年)	履修要件	必修
種類	講義	時間数	30	単位	2	授業回数	15
クラス	介護福祉学科1年生(講義)	教室	305、304	担当教員	石井 徳彦		

## 授業計画

第1回	科目オリエンテーション ・障害の理解の概要について
第2回	障害の概念 ・障害のとらえかたについて ・ICF、ICIDHについて ・障害の定義について
第3回	障害者福祉の基本理念① ・ノーマライゼーション、リハビリテーション、インクルージョン、エンパワメント、ストレングスについて ・国際障害者年、障害者権利条約について
第4回	障害者福祉の基本理念② ・ノーマライゼーション、リハビリテーション、インクルージョン、エンパワメント、ストレングスについて ・国際障害者年、障害者権利条約について
第5回	障害者福祉に関する制度① ・障害者総合支援法について ・障害者差別解消法、障害者虐待防止法、成年後見制度について
第6回	障害者福祉に関する制度② ・障害者総合支援法について ・障害者差別解消法、障害者虐待防止法、成年後見制度について
第7回	障害者福祉制度と介護保険制度 ・障害者福祉制度と介護保険制度の違いについて
第8回	障害のある人の心理 ・人間の欲求 ・適応機制、障害の受容の過程について ・心理的支援の方法について
第9回	肢体不自由 ・肢体不自由(運動機能障害)の種類、状態、特性、支援のあり方について
第10回	視覚障害 ・視覚障害の状態、特性、支援のあり方について
第11回	聴覚・言語障害① ・言語障害の種類、原因について ・聴覚言語障害者(児)の身体的・心理的・社会的側面の特性について
第12回	聴覚・言語障害② ・言語障害の種類、原因について ・聴覚言語障害者(児)の身体的・心理的・社会的側面の特性について
第13回	重複障害① ・重複障害の種類、原因について ・重複障害者(児)の身体的・心理的・社会的側面の特性について
第14回	重複障害② ・重複障害の種類、原因について ・重複障害者(児)の身体的・心理的・社会的側面の特性について
第15回	前期末試験

## 202504 専門学校アリス学園

学部・学科 専門課程 介護福祉学科

区分 ころとからだのしくみ ころとからだのしくみ

科目名 障害の理解A

## 成績評価の方法

区分	割合(%)	内容
定期試験	60	
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	20	
その他	20	

## 科目概要

障害の概念や障害者福祉の歴史や基本理念について学ぶ。  
障害種ごとに障害のあるご利用者の生活を理解し、どのような支援が必要かを学ぶ。

## 目標

障害の概念や障害者福祉の歴史や基本理念について理解できる。  
身体障害の特徴を理解し、身体障害のあるご利用者の気持ちや、生活支援について理解できる。

## 主教材

最新 介護福祉士養成講座 14 障害の理解

## 副教材

PPT

202504 専門学校アリス学園							
学部・学科		専門課程 介護福祉学科					
区分		こころとからだのしくみ こころとからだのしくみ					
科目名		こころとからだのしくみA					
副題							
対象	1年	開講期	前期	開講学期	2025年度(通年)	履修要件	必修
種類	講義	時間数	60	単位	4	授業回数	30
クラス	介護福祉学科1年生(講義)	教室	305、304	担当教員	宮森 浩菜		
授業計画							
第1回	授業オリエンテーション:授業の進め方、評価方法など 科目「こころとからだのしくみ」で学ぶこと「健康」とは何か						
第2回	人間の欲求:基本的欲求 社会的欲求 自己実現とは						
第3回	自己実現と尊厳						
第4回	こころのしくみの基礎「こころ」とは何か						
第5回	脳のしくみ						
第6回	認知のしくみ						
第7回	学習・記憶・思考のしくみ						
第8回	感情・情動、意欲・動機づけのしくみ						
第9回	適応(機制)のしくみ						
第10回	からだのしくみ 細胞・遺伝						
第11回	からだのしくみ 身体各部の名称						
第12回	からだのしくみ 脳・神経①						
第13回	からだのしくみ 脳・神経②						
第14回	からだのしくみ 感覚器						
第15回	からだのしくみ 呼吸器系①						
第16回	からだのしくみ 呼吸器系②						
第17回	からだのしくみ 循環器系①						
第18回	からだのしくみ 循環器系②						
第19回	からだのしくみ 消化器系①						
第20回	からだのしくみ 消化器系②						
第21回	からだのしくみ 泌尿器系						
第22回	からだのしくみ 骨・関節・筋肉①						
第23回	からだのしくみ 骨・関節・筋肉②						
第24回	からだのしくみ 神経系						
第25回	からだのしくみ 血液・体液・リンパ						
第26回	生命の維持と恒常性のしくみ						
第27回	介護福祉職に必要な薬の知識						
第28回	解剖生理図作成						
第29回	解剖生理図作成・発表						
第30回	期末試験						
成績評価の方法							
区分		割合(%)	内容				
定期試験		60					
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)		20					
その他		20					
科目概要							
"介護実践の根拠となる、人間の心理や人体の構造・機能および介護サービスの提供における安全への留意点などについて学習する							
目標							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・解剖学、生理学、運動学、心理学等をもとに、人が生活するうえでこころとからだはどのようにはたらくのかを示し、介護実践に必要な観察力、判断力の基盤となる知識を学ぶ</li> <li>・人体の構造・機能とあわせて疾病の発生のメカニズムを学ぶことにより、「予防の視点」を身につけることができる”</li> </ul>							
主教材							
最新・介護福祉士養成講座11 こころとからだのしくみ(中央法規出版)							
副教材							

## 202504 専門学校アリス学園

学部・学科		専門課程 介護福祉学科					
区分		医療的ケア 医療的ケア					
科目名		医療的ケア 演習					
副題							
対象	2年	開講期	通年	開講学期	2025年度(通年)	履修要件	必修
種類	演習	時間数	120	単位	6	授業回数	60
クラス	介護福祉学科2年Aクラス	教室		担当教員	宮森 浩菜		

## 授業計画

第1回	授業オリエンテーション ・喀痰吸引のケアの実施 ・評価方法について ・口腔内喀痰吸引、鼻腔内喀痰吸引 ・実施デモンストレーション
第2回	・喀痰吸引のケアの実施 ・評価方法について ・口腔内喀痰吸引、鼻腔内喀痰吸引 ・実施デモンストレーション ・グループ練習
第3回	口腔内・鼻腔内喀痰吸引 グループ演習
第4回	口腔内・鼻腔内喀痰吸引 グループ演習
第5回	口腔内・鼻腔内喀痰吸引 グループ演習
第6回	口腔内・鼻腔内喀痰吸引 グループ演習
第7回	口腔内・鼻腔内喀痰吸引 グループ演習
第8回	口腔内・鼻腔内喀痰吸引 グループ演習
第9回	口腔内・鼻腔内喀痰吸引 実技評価
第10回	口腔内・鼻腔内喀痰吸引 実技評価
第11回	気管カニューレ喀痰吸引 演習デモンストレーション グループ演習
第12回	気管カニューレ喀痰吸引 グループ演習
第13回	気管カニューレ喀痰吸引 グループ演習
第14回	気管カニューレ喀痰吸引 実技評価
第15回	気管カニューレ喀痰吸引 実技評価
第16回	経管栄養(胃ろう) 演習デモンストレーション グループ演習
第17回	経管栄養(胃ろう) グループ演習
第18回	経管栄養(胃ろう) グループ演習
第19回	経管栄養(胃ろう) グループ演習
第20回	経管栄養(胃ろう) グループ演習
第21回	経管栄養(胃ろう) グループ演習
第22回	経管栄養(胃ろう) 実技評価

## 202504 専門学校アリス学園

学部・学科	専門課程 介護福祉学科
区分	医療的ケア 医療的ケア
科目名	医療的ケア 演習
第23回	経管栄養(胃ろう) 実技評価
第24回	経管栄養(胃ろう) 実技評価
第25回	経管栄養(経鼻経管栄養) 演習デモンストレーション グループ演習
第26回	経管栄養(経鼻経管栄養) グループ演習
第27回	経管栄養(経鼻経管栄養) グループ演習
第28回	経管栄養(経鼻経管栄養) 実技評価
第29回	経管栄養(経鼻経管栄養) 実技評価
第30回	救急蘇生法 デモンストレーション 演習・実技評価
第31回	
第32回	
第33回	
第34回	
第35回	
第36回	
第37回	
第38回	
第39回	
第40回	
第41回	
第42回	
第43回	
第44回	
第45回	
第46回	
第47回	
第48回	
第49回	
第50回	
第51回	
第52回	
第53回	
第54回	
第55回	
第56回	
第57回	
第58回	
第59回	
第60回	

## 成績評価の方法

区分	割合(%)	内容
定期試験	60	
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	20	課題点、態度点
その他	20	出席点

## 科目概要

## 202504 専門学校アリス学園

学部・学科 専門課程 介護福祉学科

区分 医療的ケア 医療的ケア

科目名 医療的ケア 演習

医療的ケア演習  
喀痰吸引(口腔内・鼻腔内・気管カニューレ内部)  
経管栄養(胃ろう・経鼻経管栄養)  
基本研修

## 目標

喀痰吸引、経管栄養ともに、正しい手順が理解でき、安全に実施できる。  
清潔と不潔の概念を理解し、感染の発症を防ぐことが理解できる。  
利用者の状態を確認する声かけや、観察を正確に行うことができる。

## 主教材

最新 介護福祉士養成講座15  
医療的ケア  
基本研修必要物品

## 副教材

## 202504 専門学校アリス学園

学部・学科	専門課程 介護福祉学科						
区分	医療的ケア 医療的ケア						
科目名	医療的ケア 講義						
副題							
対象	2年	開講期	通年	開講学期	2025年度(通年)	履修要件	必修
種類	演習	時間数	120	単位	4	授業回数	60
クラス	介護福祉学科2年生(講義)	教室	レクチャールーム	担当教員	宮森 浩菜		

## 授業計画

第1回	<p>【目標】医療的ケア学習の概要及び意義を理解することができる</p> <p>第1章 医療的ケア実施の基礎</p> <p>第1節 医療的ケア</p> <p>授業オリエンテーション</p> <p>1) 医療的ケアとは</p> <p>2) カリキュラム及び学習方法について</p>
第2回	<p>【目標】医療的ケアの全体像及び学習の意味を理解することができる</p> <p>第1章 医療的ケア実施の基礎</p> <p>第1節 医療的ケア</p> <p>1) 医行為とは</p> <p>2) チーム医療と医療の倫理</p>
第3回	<p>【目標】医療的ケアにおける利用者・家族に対する倫理的配慮について理解することができる</p> <p>第1章 医療的ケア実施の基礎</p> <p>第1節 医療的ケア</p> <p>1) 医療の制度とその変遷</p> <p>2) 喀痰吸引等制度の概要</p>
第4回	<p>【目標】喀痰吸引等制度とその背景について理解することができる</p> <p>第1章 医療的ケア実施の基礎</p> <p>第1節 医療的ケア</p> <p>1) 医療的ケアと喀痰吸引等の背景</p> <p>2) その他の制度</p>
第5回	<p>【目標】安全に喀痰吸引や経管栄養を提供する重要性を理解することができる</p> <p>第1章 医療的ケア実施の基礎</p> <p>第2節 安全な療養生活</p> <p>1) 安全に喀痰吸引や経管栄養を提供する重要性</p>
第6回	<p>【目標】リスクマネジメントの考え方と枠組みについて理解することができる</p> <p>第1章 医療的ケア実施の基礎</p> <p>第2節 安全な療養生活</p> <p>2) リスクマネジメントの考え方と枠組み</p> <p>3) ヒヤリハット・アクシデント報告・報告書の書き方</p>
第7回	<p>【目標】救急蘇生・応急手当の基礎知識とその重要性を理解することができる</p> <p>第1章 医療的ケア実施の基礎</p> <p>第2節 安全な療養生活</p>
第8回	<p>【目標】救急蘇生・応急手当の基礎知識とその重要性を理解することができる</p> <p>第1章 医療的ケア実施の基礎</p> <p>第2節 安全な療養生活</p>
第9回	<p>【目標】感染予防の基礎知識・標準予防策について理解することができる</p> <p>第1章 医療的ケア実施の基礎</p> <p>第3節 清潔保持と感染予防</p>
第10回	<p>【目標】感染予防としての手袋・ガウン等の装着について理解することができる</p> <p>第1章 医療的ケア実施の基礎</p> <p>第3節 清潔保持と感染予防</p>
第11回	<p>【目標】介護職員の健康管理について理解することができる</p> <p>第1章 医療的ケア実施の基礎</p> <p>第3節 清潔保持と感染予防</p>
第12回	<p>【目標】滅菌と消毒・消毒剤の使用上の留意点について理解することができる</p> <p>第1章 医療的ケア実施の基礎</p> <p>第3節 清潔保持と感染予防</p>

## 202504 専門学校アリス学園

学部・学科	専門課程 介護福祉学科
区分	医療的ケア 医療的ケア
科目名	医療的ケア 講義
第13回	【目標】身体と精神の平常状態について理解することができる 第1章 医療的ケア実施の基礎 第4節 健康状態の把握
第14回	【目標】バイタルサインとその見方について理解することができる 第1章 医療的ケア実施の基礎 第4節 健康状態の把握
第15回	【目標】医療的ケア実施の基礎の内容全般を振り返り更に理解を深めることができる 第1章 医療的ケア実施の基礎 第4節 健康状態の把握
第16回	【目標】医療的ケア実施の基礎の内容全般を振り返り更に理解を深めることができる 第1章 医療的ケア実施の基礎 第4節 健康状態の把握
第17回	【目標】呼吸のしくみ・働きといつもと違う呼吸状態について理解することができる 第2章 喀痰吸引(基礎的知識・実施手順) 第1節 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論
第18回	【目標】喀痰吸引とはどのようなものかを理解することができる/喀痰吸引の必要物品について理解することができる 第2章 喀痰吸引(基礎的知識・実施手順) 第1節 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論
第19回	【目標】人工呼吸器や子どもの吸引について理解することができる/吸引を受ける利用者・家族の 第2章 喀痰吸引(基礎的知識・実施手順) 第1節 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論
第20回	【目標】感染予防・安全確認・急変時や事故発生時の対応について理解することができる 第2章 喀痰吸引(基礎的知識・実施手順) 第1節 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論
第21回	【目標】消化吸収のしくみ・働きについて理解することができる 第3章 経管栄養(基礎的知識・実施手順) 第1節 高齢者および障害児・者の経管栄養概論
第22回	【目標】経管栄養の適応・種類について理解することができる/注入する内容や留意点について理解することができる 第3章 経管栄養(基礎的知識・実施手順) 第1節 高齢者および障害児・者の経管栄養概論
第23回	【目標】経管栄養の必要物品(新規格含む)について理解することができる/子どもの経管栄養について理解することができる 第3章 経管栄養(基礎的知識・実施手順)
第24回	【目標】感染予防・安全確認・急変時や事故発生時の対応について理解することができる 第3章 経管栄養(基礎的知識・実施手順) 第1節 高齢者および障害児・者の経管栄養概論
第25回	【目標】喀痰吸引の手順・留意点を理解することができる 第2章 喀痰吸引(基礎的知識・実施手順) 第2節 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説(デモンストレーション)
第26回	【目標】経管栄養の手順・留意点を理解することができる 第3章 経管栄養(基礎的知識・実施手順) 第2節 高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説(デモンストレーション)
第27回	1) 期末試験
第28回	1) 試験解説 2) 演習について
第29回	【目標】救急蘇生法の実施・留意点を理解することができる/モデル人形を使用して喀痰吸引・経管栄養の体験ができる 1) 救急蘇生法の演習 2) 喀痰吸引・経管栄養の模擬練習/国家試験対策
第30回	【目標】救急蘇生法の実施・留意点を理解することができる/モデル人形を使用して喀痰吸引・経管栄養の体験ができる 1) 救急蘇生法の演習 2) 喀痰吸引・経管栄養の模擬練習/国家試験対策
第31回	
第32回	
第33回	
第34回	
第35回	

## 202504 専門学校アリス学園

学部・学科	専門課程 介護福祉学科
区分	医療的ケア 医療的ケア
科目名	医療的ケア 講義

第36回	
第37回	
第38回	
第39回	
第40回	
第41回	
第42回	
第43回	
第44回	
第45回	
第46回	
第47回	
第48回	
第49回	
第50回	
第51回	
第52回	
第53回	
第54回	
第55回	
第56回	
第57回	
第58回	
第59回	
第60回	

## 成績評価の方法

区分	割合(%)	内容
定期試験	60	
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	20	
その他	20	

## 科目概要

医療的ケアを行う際の人間の尊厳の厳守・倫理観の確立と医療行為に関する他職種との連携を理解する。

## 目標

医療的ケアにおける身体の解剖・生理・感染予防の基本的知識を学ぶと共に、安全な実施手順を習得する。

## 主教材

最新 介護福祉士養成講座15「医療的ケア」／中央法規

## 副教材

## 202504 専門学校アリス学園

学部・学科	専門課程 介護福祉学科						
区分	アリス教育科目 アリス教育科目						
科目名	国試模擬						
副題							
対象	2年	開講期	通年	開講学期	2025年度(通年)	履修要件	必修
種類	講義	時間数	30	単位	2	授業回数	15
クラス	介護福祉学科1年生(講義)	教室	レクチャールーム	担当教員	石井 徳彦、石井 徳彦		

## 授業計画

第1回	第1回校内模試(春休み課題試験)
第2回	第1回校内模試(春休み課題試験)
第3回	校内模試解答・解説
第4回	第2回校内模試
第5回	第2回校内模試
第6回	校内模試解答・解説
第7回	第3回校内模試
第8回	第3回校内模試
第9回	校内模試解答・解説
第10回	2023年度第1回全国統一模擬試験
第11回	2023年度第1回全国統一模擬試験
第12回	2023年度第1回全国統一模擬試験
第13回	第4回校内模試
第14回	第4回校内模試
第15回	校内模試解答・解説

## 成績評価の方法

区分	割合(%)	内容
定期試験	70	
期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	10	
その他	20	

## 科目概要

介護福祉士国家試験模擬問題、国家試験過去問、模擬試験の実施、解説により必要知識の習得を行う。

## 目標

介護福祉士国家試験試験問題において、80点以上の得点を獲得する。

## 主教材

全国統一模擬試験(中央法規出版)、学力評価試験(介養協)

## 副教材